

## 結果報告書[特定健康診査]

SAMPLE

事業所	
所属部署	
社員番号	
保険者番号/記号/番号	
受診券整理番号	
生年月日/年齢 <sup>※1</sup> /性別	
受診者コード <sup>*</sup>	
今回	(受付番号)
前回	(受付番号)
前々回	(受付番号)
後日実施項目	

◆特定健康診査判定に該当する(●印またはC、D、E判定)項目については、今後注意が必要です。特に、受診勧奨に該当する(●印またはE判定)項目については、かかりつけ医(または最寄の医療機関)を受診してください。

指導コメント

■**かかりつけ医** (または最寄りの医療機関)に相談してください。観察中および治療中の項目については、引き続き医療機関で指導を受けてください。

## 判定記号の説明

A:【異常なし】 B:【放置可】 C:【要観察】 D:【要再検】 E:【要医療(要治療・要精検)】 T:【治療継続】

項目	特定健康診査判定値 <sup>※2</sup>		今回 (空腹時)	前回	前々回	特定健康診査判定		服薬中
	保健指導	受診勧奨				保健指導	受診勧奨	
喫煙習慣			あり			●		
他覚症状(身体診察)			特記事項なし			A		
診察医( )								
身長	cm		173.0					
体重	kg		73.3					
腹囲	cm	85.0~	91.0	H		●		
BMI	kg/m <sup>2</sup>	25.0~	24.5					
収縮期	mmHg	130~139	137	H				●
		140~						
拡張期	mmHg	85~89	81					●
		90~						
空腹時中性脂肪	mg/dL	150~299	160	H		●		
HDLコレステロール	mg/dL	35~39	57					
LDLコレステロール <sup>※3</sup>	mg/dL	120~139	80					
Non-HDLコレステロール	mg/dL	150~169						
空腹時血糖	mg/dL	100~125	92					
		126~						
HbA1c (NGSP)	%	5.6~6.4						
AST (GOT)	U/L	31~50	22					
		51~						
ALT (GPT)	U/L	31~50	17					
		51~						
γ-GT (γ-GTP)	U/L	51~100	14					
糖		(±)~	(-)					
蛋白		(±)	(-)					
		(+)						
メタリックシフト <sup>®</sup> ローム判定			基準該当					
特定保健指導レベル			なし(情報提供)					
初回面接実施日								

裏面もご確認ください。

※1 年度末年齢

※2 特定健康診査判定には、保健指導と受診勧奨の2つの段階があります。判定値は人間ドックや健康診断の基準値とは異なります。保健指導に該当した場合は「L」または「H」、受診勧奨に該当した場合は「LL」または「HH」が表示されます。保健指導、受診勧奨の区別がない項目については、判定値に該当した場合は「L」または「H」が表示されます。

※3 直接測定法

※4 判定に使用した項目だけを表示しています。

【結果に関するお問い合わせ】

電話番号：(0564) 52-1841

受付時間：月～金曜日 午後1時～午後5時



一般社団法人 岡崎市医師会

公衆衛生センター

はるさき健診センター

センター長 山田 珠 樹



**SAMPLE**

P2

項目	特定健康診査判定値※2		今回	前回	前々回	特定健康診査判定		服薬中
	保健指導	受診勧奨				保健指導	受診勧奨	
腎機能	血清クレアチニン mg/dL							
	eGFR mL/分/1.73m <sup>2</sup>	45~59	~44					
	赤血球数 万/μL	360~399	~359					
	血色素量 g/dL	12.1~13.0	~12.0					
貧血	ヘマトクリット値 %	35.4~38.4	~35.3					
	心電図							
詳細項目	右	KW※5		その他				
		Scheie	H					
			S					
		糖尿病性変化						
	左	KW※5		その他				
		Scheie	H					
			S					
		糖尿病性変化						
眼底								
実施理由								

※5 KWとScheieは、高血圧性変化や動脈硬化性変化の分類です。

現病歴	既往歴	自覚症状
特記事項なし	特記事項なし	
標準的な質問項目		回答
1	a. 血圧を下げる薬	はい
2	現在、aからcの薬の使用の有無	いいえ
3	b. 血糖を下げる薬又はインスリン注射	いいえ
	c. コレステロールや中性脂肪を下げる薬	いいえ
4	医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	いいえ
5	医師から、心臓病(狭心症、心筋梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	はい
6	医師から、慢性腎臓病や腎不全にかかっているといわれたり、治療(人工透析など)を受けていますか。	いいえ
7	医師から、貧血といわれたことがある。	いいえ
8	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。(「以前吸っていた」とは、最近1か月間は吸っていない場合)	はい
9	20歳の時の体重から10kg以上増加している。	はい
10	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施。	はい
11	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。	いいえ
12	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い。	いいえ
13	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。	かみにくいことがある
14	人と比較して食べる速度が速い。	ふつう
15	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。	いいえ
16	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	毎日
17	朝食を抜くことが週に3回以上ある。	いいえ
18	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。	飲まない(飲めない)
19	飲酒日の1日当たりの飲酒量	
20	睡眠で休養が十分とれている。	いいえ
21	運動や食生活などの生活習慣を改善してみようと思いませんか。	意思なし
22	生活習慣の改善について、これまでに特定保健指導を受けたことがありますか。	はい

※結果報告書の再発行は発行手数料をご負担いただきます。この結果報告書は大切に保管ください。

特定健康診査項目及び検査からわかること

検査項目		単位	基準値	保健指導判定値	受診勧奨判定値	この検査からわかること	
基本項目	身体計測	身長	cm	-	-	-	-
		体重	kg	-	-	-	-
		腹囲	cm	男性85cm未満 女性90cm未満	男性85cm以上 女性90cm以上	-	内臓脂肪型肥満の疑いの有無を調べます。内臓脂肪が過剰にたまり、体重が適正であっても心筋梗塞や脳卒中などを発症しやすくなります。
	BMI※	kg/m <sup>2</sup>	18.5以上25未満	18.5未満または25以上	-	身長と体重から、肥満かどうかを判定します。男女とも25以上は肥満と判定されます。	
	血圧	収縮期	mmHg	130未満	130以上	140以上	・収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上の人は、すぐに医療機関を受診しましょう。 ・望ましい血圧レベル(収縮期血圧120mmHg未満かつ拡張期血圧80mmHg未満)の人と比べて、収縮期血圧130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上の人は約1.5倍～2倍、収縮期血圧140mmHg以上または拡張期血圧90mmHg以上の人は約3倍、収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上の人は約5倍、脳卒中や心臓病にかかりやすいことがわかっています。
		拡張期	mmHg	85未満	85以上	90以上	
	脂質	中性脂肪	mg/dL	150未満	150以上	300以上	・500mg/dL以上の人は、血液中の脂肪がとて多く、この状態を放置しておくとし急性膵炎になる可能性があります。すぐに医療機関を受診しましょう。 ・300mg/dL以上の人は、150mg/dL未満の人と比べて2倍心臓病にかかりやすいことがわかっています。
		HDLコレステロール	mg/dL	40以上	40未満	35未満	肥満、喫煙、運動不足により減少します。
		LDLコレステロール	mg/dL	120未満	120以上	140以上	180mg/dL以上の人は、100未満の人と比べて3～4倍心筋梗塞にかかりやすいことがわかっています。すぐに医療機関を受診しましょう。
	血糖	血糖(空腹時)	mg/dL	100未満	100以上	126以上	血液中のブドウ糖量を測ることで、糖尿病発見の手掛かりとなります。空腹時血糖が126mg/dL以上の人は、糖尿病が強く疑われます。すぐに医療機関を受診しましょう。
		HbA1c(NGSP)	%	5.6未満	5.6以上	6.5以上	過去1～2か月の平均的な血糖コントロールの目安です。HbA1cが6.5%以上の人は、糖尿病が強く疑われます。すぐに医療機関を受診しましょう。
	肝機能	AST(GOT)	U/L	31未満	31以上	51以上	肝機能の障害の程度を示します。内臓脂肪型肥満でALTが高い人は、脂肪肝などの肝障害が疑われます。
		ALT(GPT)	U/L	31未満	31以上	51以上	
		γ-GT(γ-GTP)	U/L	51未満	51以上	101以上	アルコール常飲者では数値が高くなることから、アルコール肝炎発見の指標となります。
	尿検査	糖※	-	陰性(-)	-	+以上	血糖値が高くなりすぎると尿中に糖が出るため、陽性の人は糖尿病が進行していると考えられますので、すぐに医療機関を受診しましょう。
蛋白※		-	陰性(-)	-	++以上	陽性の人はCKD(慢性腎臓病)が強く疑われ、病状がかなり進んだ状態です。CKDの人は、そうでない人に比べて、末期腎不全により透析治療が必要な状況に10倍以上なりやすく、また、脳卒中や心血管疾患の発症やそれによる死亡の危険が2倍以上になることがわかっています。すぐに医療機関を受診しましょう。	
詳細項目	血清クレアチニン	mg/dL	-	-	-	eGFRを算出するために計測します。	
	eGFR	ml/分/1.73m <sup>2</sup>	60以上	60未満	45未満	血清クレアチニンと年齢及び性別からeGFRを計算します。正常はおおよそ100ml/分/1.73m <sup>2</sup> です。この数値が低くなると腎臓の働きが低下していることとなります。 ・eGFRが45未満 腎臓の働きが低下しています。慢性腎臓病の存在を示す重要なサインです。すぐに医療機関を受診して下さい。 ・eGFRが45以上60未満 腎機能の軽度の低下があります。eGFRが45以上60未満の場合は、それだけで軽症の慢性腎臓病の存在を示すサインです。	
	赤血球※	万/μL	男性400以上540未満 女性360以上490未満	-	男性360未満 女性330未満	-	
	血色素量	g/dL	男性13.0以上 女性12.0以上	男性13.0未満 女性12.0未満	男性12.0未満 女性11.0未満	-	
貧血	ヘマトクリット値※	%	男性38.0以上 49.0未満 女性34.0以上 44.0未満	-	35未満 31未満	-	

※標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】別紙5にない項目のため、「人間ドック成績判定及び事後指導に関するガイドライン」(人間ドック学会)に基づく。